

形成外科研修プログラム

指 導 医 大原 博敏

研 修 期 間 基 本 コ ー ス 選 択 科 目 1 ヶ月から9 ヶ月
小児科・産婦人科コース
産 婦 人 科 主 科 選 択 科 目 1 ヶ月から6 ヶ月
小 児 科 主 科 選 択 科 目 1 ヶ月から6 ヶ月

【一般目標】

形成外科における基礎知識の習得。
褥瘡のプライマリーケア、管理方法の習得。
形成外科的皮膚小腫瘍切除の手術手技の習得。

【行動目標】

1. 皮膚外傷、熱傷、手術創を通じて創傷治癒の経過を理解する。
2. 褥瘡の深達度判定、処置方法、管理方法を習得する。
3. 皮膚腫瘍の診察、診断に関する知識を習得する。
4. 皮膚小腫瘍切除術の正しい麻酔、皮膚切開、剥離、止血、真皮縫合、表皮縫合、ドレッシング等を習得する。
5. 形成外科の診療範囲、診療内容と美容外科との違いを理解する。

【方法】

1. 外来診察、病棟診察を指導医とともに行う。
2. 入院患者の担当医を担う。
3. 外来患者の問診、診察、処置を行う。
4. 褥瘡回診に参加する。
5. 手術助手、皮膚腫瘍の場合は力量に応じて執刀医を担当する。
6. 慶應大学病院形成外科への見学（1～2週間程度）を行う。
7. 形成外科に関連する論文・雑誌を読み発表する。
8. 形成外科地方会や学会が研修期間中に開催されれば参加する。

【評価】

評価はE P O Cを使用し、上記各目標について自己評価及び指導医の評価を行う。

【スケジュール】 研修初日は7時30分に医局に集合。

	月	火	水	木	金
午前	病棟カンファレンス 外来	手術 病棟	病棟カンファレンス 手術／外来	外来	病棟
午後	病棟	外来	手術 病棟 褥瘡回診	病棟 抄読会	

【経験することが望ましい症例】（非観血的治療例を含む）

1. 新鮮熱傷
2. 顔面骨骨折および顔面軟部組織損傷
3. 先天異常
 - ・唇裂・口蓋裂・合指症・多指症など
4. その他の先天異常
 - ・小耳症・副耳・耳（前）瘻孔・正中頸嚢胞・側頸嚢胞・漏斗胸・臍突出症など
5. 母斑、血管腫、良性腫瘍
 - ・粉瘤・脂肪腫・色素性母斑・異所性蒙古斑・脂腺母斑・単純性血管腫・莓状血管腫など
6. 悪性腫瘍およびそれに関連する再建
 - ・頭頸部再建・乳房再建
7. 瘢痕、瘢痕拘縮、肥厚性瘢痕、ケロイド
8. 褥瘡、難治性潰瘍
9. その他
 - ・顔面神経麻痺・後天性眼瞼下垂症・毛巣洞・陥入爪・腋臭症など

【経験すべき知識・手技】

経験数	研修期間別目標症例数			
	2ヵ月	～4ヵ月	～6ヵ月	～9ヵ月
1. 皮膚腫瘍診断	5	10	20	30
2. 皮膚切開	5	10	20	30
3. 皮膚縫合	5	10	20	30
4. 真皮縫合	5	10	20	30
5. 皮膚腫瘍摘出術	5	10	20	30
6. 創傷処置	20	40	80	120
7. デブリードメント	1	2	3	4